

# 読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書 11月分

新しく入った本の中から  
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

## 【ガリレオの事件簿1 ポルターガイストの謎を解け】 東野圭吾／著 文藝春秋

あのガリレオが、ジュニア版で登場！

毎晩8時に家具や電灯が揺れる家。そこに暮らす怪しい人々は何かを隠している？！「騒霊ぐ(さわぐ)」や、深夜に火の玉をみた少女の”お父さんに何か悪いことが起きそう”という予感が当たってしまう「絞殺る(しめる)」など、不可思議な事件をガリレオが解き明かす、4つの短編を収録。

## 【大都市はどうやってできるのか (ちくまプリマー新書)】 山本和博／著 筑摩書房

東京は「人が多すぎる」とは言えない！？なぜ人々は一つの地域に集まるのか。東京やニューヨークのような大都市はなぜ生まれるのか。世界の都市化が急速に進むいま、人々がひとつの地域に集まる原理から現代の課題までを、都市経済学から考える。

## 【細田守の芸術世界 THE MAN WHO LEAPT THROUGH FILM】

チャールズ・ソロモン／著 和田侑子／翻訳 グラフィック社

国際的に著名なアニメーション歴史家が、世界のアニメーション史に、細田守とその作品群、制作拠点である「スタジオ地図」とは何ものなのかを、初めて体系付けるとともに、監督作品をめぐる数百点におよぶスケッチや絵コンテを紹介する。

## 【日本の歴史1 日本のはじまり(角川まんが学習シリーズ)】

山本博文／監修 KADOKAWA

マンモスやナウマン象を追って日本列島に移動してきた人類は、縄文時代の末期、稲の栽培が始まると貧富の差が生まれ、弥生時代には小さな国同士の戦争が起こるようになった。やがて、邪馬台国の卑弥呼のように、中国に使者を送り王の地位を認められてう者が出てきて…。本巻では旧石器時代から大和政権の成立までの歴史を追う。

読みたかった本がある…  
…かもしれない  
《ティーンズコーナー》  
をのどきに来てね。